

新総合計画策定における政策体系の構築と予算体系の整合について

1. 目的

新総合計画の策定に当たっては、市民に分かりやすい計画づくりを念頭に置いています。

このため、これまで6階層の政策体系を4階層へ簡素化し、目的と手段が明確で分かりやすい政策体系を構築するとともに、政策体系と予算体系との整合を図り、政策や事業の費用対効果を明らかにすることで、より具体的な実績評価に基づくPDCAサイクルの確立を実現します。

2. 政策体系と予算体系との整合の考え方

組織体系のうち、課のレベルで総合計画体系の政策と予算体系の目とを一致させます。

これにより、組織と計画、予算の整合を図り、政策や事業の責任の所在を明確にします。

表1 総合計画の体系と予算体系の整合

組織体系	総合計画体系	予算体系	当初想定本数	整合後本数	定義 (各階層は目的と手段の連鎖構造で結ばれる)
市	政策の柱	(非整合)	7	7	都市の将来像を実現するため、個別分野における将来像として、各部の基本政策を束ねるもの<7分野>
部	基本政策	(非整合)	19	22	政策の柱として掲げた各分野の将来像を実現するための手段として、各課の政策を束ねるもの<1部1基本政策>
課	政策	目	250	約150	部レベルで掲げた基本政策を実現するための手段として、課の事業を束ねるもの<1目1課を基本に調整>
グループ	事業	事業	1,000	約1,000	課レベルで掲げた政策を実現するための手段として、実施される行政活動であり、いくつかの事務事業群を束ねるもの

<都市の将来像> 技術と文化の世界都市・浜松
環境と共生するクラスター型世界都市・浜松

<政策の柱>

- I 世界に誇る産業創造都市（産業経済分野）
- II 個性・感性・世界性がきらめく文化創造都市（教育、文化、スポーツ分野）
- III 協働で築く安全、安心都市（防災、市民生活分野）
- IV 水と緑と光が響きあう環境共生都市（環境分野）
- V 健やかな心身と思いやりを育む共生都市（健康、福祉分野）
- VI 多彩な魅力に出会える快適空間都市（都市・生活基盤分野）
- VII みんなが奏でる世界都市（都市経営分野）

表2 計画・予算体系のH18年度以前とH19年度以降の比較

【これまでの体系】

組織体系	部・課・グループ					
	政策の柱	基本政策	政策	施策	基本事務事業	事務事業
総合計画体系	6	20	58	147	387	2,016
予算体系	会計	款	項	目	大事項	
	1	-	-	355	1,854	

【H19年度以降の体系】

組織体系	分野	部	課	グループ
総合計画体系	政策の柱	基本政策	政策	事業
	7	22	約 150	約 1,000
予算体系	会計・款・項		目	事業
	-		約 150	約 1,000

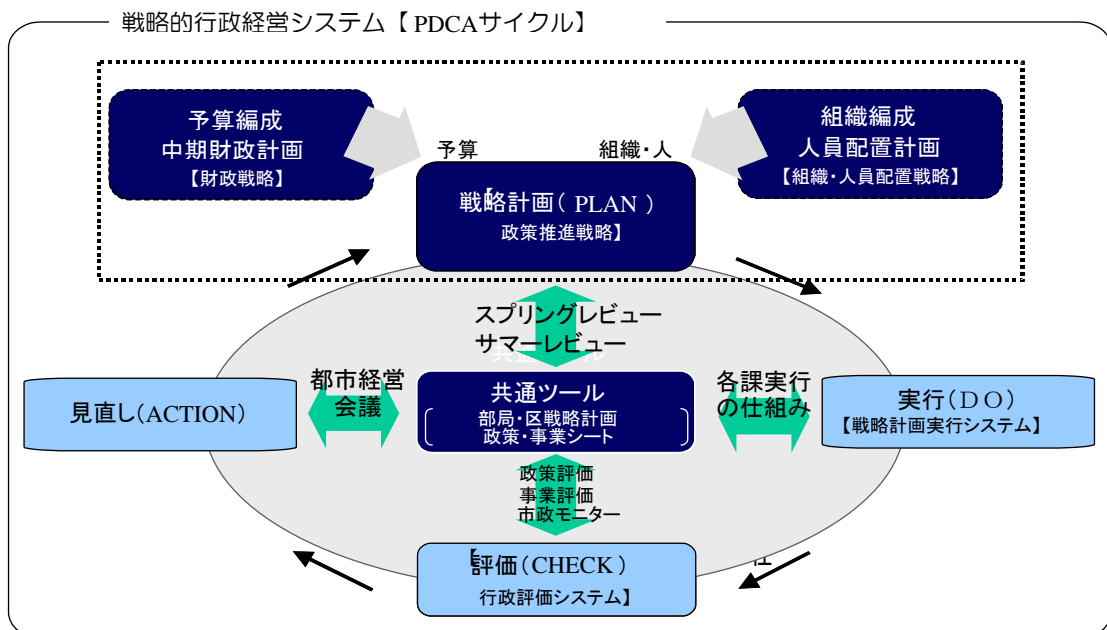
3. 戦略計画を核とするマネジメントシステムの確立

新総合計画の策定に合わせ、戦略計画を核とするマネジメントシステムを確立します。

計画、評価、予算の全てに活用できる共通ツールとして“政策・事業シート”を作成し、データベースを構築することで、計画を軸とした評価システム及び予算システムの有機的連携や作業の効率化を進めます。

また、19年度予算概算要求及び新たな中期財政計画の策定においても、この“政策・事業シート”を活用します。





図1 マネジメントシステムの概要



4. “政策・事業シート”を活用した評価の仕組み

- 平成19年度の事前評価の時点から、従来の行政評価システムを廃止し、“政策シート”、“事業シート”を行政評価のツールとして活用します。
- これまでは全ての事務事業について行政評価を実施していたため、対象事業は約2,000にもおよび、事務作業量も大きなものとなっていました。また、評価が「事業単体の直接的な成果」にとどまっていたほか、一般諸経費などの事業性を有さない内部管理事務を評価対象としていたことに対する「評価の有効性」も問われていました。
- 今後は事務事業をまとめた単位である事業（“事業シート”）を評価の最小単位とします。これにより対象事業を約1000（想定数）に減らして事務量の軽減を図るとともに、「事業を総合的に捉えた目的志向の評価」を目指します。
- “事業シート”による評価は、これまでの事務事業評価と同様に公表します。
- また、政策の柱及び基本政策レベルでの評価については、戦略計画の政策レポートを活用した外部評価の仕組みを構築します。

表3 各体系の評価方法

	政策レポート 	政策レポート 	政策シート 	事業シート 
組織体系	分野	部	課	グループ
総合計画体系	政策の柱	基本政策	政策	事業
予算体系	会計・款・項		目	事業
評価方法	政策レポート (市戦略計画)	政策レポート (部局戦略計画)		事業シート

<参考> 総合計画の策定状況

現在、策定委員会において基本構想並びに都市経営戦略の策定を進めており、基本的なまちづくりの考え方及び方向性が固まっています。

■基本構想

基本構想は、基本理念や将来像を定めた都市づくりの活動指針です。

期間：平成 19～26 年度（8 年間）

■都市経営戦略

都市経営戦略は、基本構想で定められた将来像を実現する都市づくりの戦略書として、総合的な政策体系を構築し目標を定めるとともに、選択と集中による政策の重点化を進める計画です。

期間：≪前期≫平成 19～22 年度（4 年間）

≪後期≫平成 23～26 年度（4 年間）

■戦略計画

戦略計画は、都市経営戦略で掲げた目標を達成するため、行政が実践する計画として、市全体、部局及び区における経営方針などを表した計画です。

期間：平成 19 年度～（4 年後を目標として 1 年間）

図2 総合計画の構成(案)

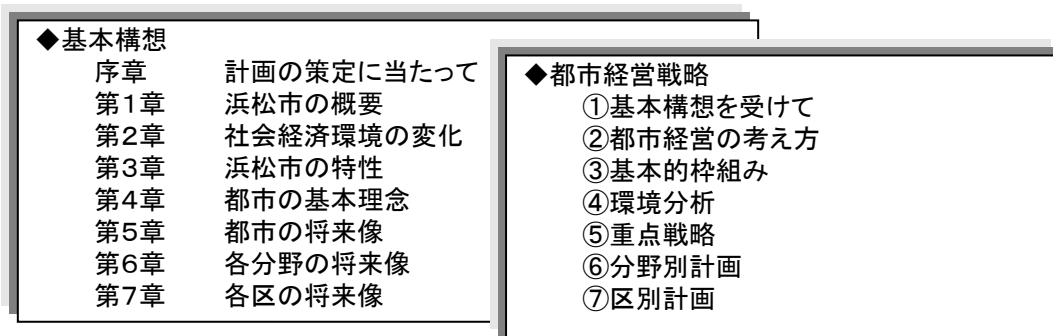


図3 総合計画の期間

